

前期第1回

「能、その幽玄な美を探る」

平成28年9月25日

・講師：金剛流能楽師 熊谷伸一 氏

能楽は、観阿弥・世阿弥以来 650 年続く日本の代表的な伝統芸で、世界文化遺産にも登録されています。長きにわたって能が求め続けた幽玄美とは何でしょうか。その幽玄美を作り出すために、どのようなこだわりが、謡、舞、能面、装束等に工夫を凝らし、この伝統芸を続けているのでしょうか。装束、能面、映像等を使って、分かり易く解説します。佐野の能と言えば、「鉢木」「船橋」ですが、その一部も実演します。



○参加者の感想・意見について（主なもの）

- ・能の奥深さを知り、改めて今後の人生に少しでも役に立てたい。
- ・講師の先生の能に対する深いお話を興味深く拝聴しました。
- ・有意義な講義でした。
- ・日本の伝統文化は後世に引き継ぐことが大切と思いました。

前期第2回

「宇宙を見る新しい窓・重力波」

平成28年10月29日

講師：東京大学宇宙線研究所・准教授 三代木伸二 氏

天体望遠鏡をもちいて人類史上初めてとなる月や木星の観測を行ったのはガリレオでしたが、それから約400年後の2015年9月、今度は、人類史上初めて、重力波望遠鏡により重力波という宇宙からの新しい信号がとらえられました。この重力波でわかる新しい宇宙について、易しく解説します。

なお、KAGRAは、日本の重力波望遠鏡であり、3月25日から試験運転を始めています。



○参加者の感想・意見について（主なもの）

- ・重力波観測により、宇宙の未知の部分が解明されることが期待できます。
- ・遠い遠い宇宙の起源、大変興味深く素晴らしい時間でした。
- ・質問に丁寧に答えて下さり、理解を深めました。
- ・難しいテーマを、ユーモアを交えわかりやすく説明してくれました。

前期第3回

「東日本大震災、熊本地震等に学ぶ 地震への備え」

平成28年12月11日

・講師：技術士事務所（株）国際地盤研究所社長 尾上篤生 氏

地震大国に住む我々にとって、決して他人事ではない地震災害。地震のメカニズムやタイプ、それによって誘発される活断層の動きがあります。南海トラフ巨大地震や首都直下型地震が起きた想定下での栃木県への影響はどのくらいでしょうか。その時、とるべき行動や通信手段途絶時の安否確認など、どうすればよいのでしょうか。東日本大震災、熊本地震等に学び、防災意識を高めましょう。



○参加者の感想・意見について（主なもの）

- ・地震の都度、窓をまず開けていたのが良かったと知り安心しました。
- ・ハラハラ・ドキドキしながら講義を受けました。最後に先生の注意事項、「命あつての物種」、防災グッズ類よりも月1回の訓練が大切とのお言葉に同感いたしました。
- ・これからの心構えを教えてくださいました。友人、家族にも話したいと思います。

後期第1回

「真田家、生き残りの軌跡 一犬伏の別れ一」

平成29年1月22日

講師：東京大学史料編纂所 教授 本郷和人 氏

真田家に残された文書などを読み解きながら、犬伏の別れの実態を探ります。加えて、昌幸・幸村の戦いと、後の大坂の陣での幸村の奮戦ぶりについてもふれます。幸村の武名は江戸時代でとりわけ名高く、しかも信幸の血統は信濃で10万石の大名として生き残りしました。真田家はまさに、戦略的な勝者だったのでしょう。



○参加者の感想・意見について（主なもの）

- ・いろいろな話題を取り入れ、面白く聞かせていただきました。
- ・本郷先生は、正直な真摯な研究者・学者であることを再認識しました。
- ・歴史の真実の考え方や根拠による史料等、よくわかりました。
- ・歴史上の人物について、知らなかったエピソード等、ユーモアを交えて講義していただけて楽しかったです。

後期第2回

「スティールパンとフルートで楽しむボサノバ」

平成29年2月26日

演奏者：アスタリスク他

ミュージックアートプロダクツ“アスタリスク”が、ボサノバ・サンバのドラマーでボサノバ歌手の小野リサのプロデュースも手掛けたブラジル音楽の一人者、吉田和雄をはじめ多彩なゲストを迎えてお送りします。

フルート、ギター、ピアノ、パーカッションに加えて、今回は珍しいスティールパンをフューチャーして、おなじみのボサノバの名曲をはじめ、サンバやショーロなども混じえて、ブラジル音楽を満喫していただきます。



○参加者の感想・意見について（主なもの）

- ・素晴らしい生演奏がきけて感動しました。特にスティールパンはよかったです。
- ・サンバとともにブラジル楽曲を直に耳にして至福のひと時でした。
- ・内容の高いレベルで有意義な時間が過ごせました。
- ・それぞれの楽器の音がきれいでとてもよかったです。

後期第3回

「未病先防～がんや成人病を予防するライフスタイルとは」

平成29年3月18日

講師：（公財）ルイ・パストゥール医学研究センター基礎研究部 室長
宇野賀津子 氏

がんは、日本人の半数が罹り、約3分の1が死亡する病気です。これは加齢に伴う免疫力の低下や炎症の蓄積（老化）で避けられない面もありますが、ライフスタイルの変化でその進行を遅らせる事は可能です。食生活を見直し、生き甲斐を持ち、免疫機能を上げる事で、10年先20年先は違ってきます。その免疫機能を向上させるためにどうしたら良いか、福島原発事故後福島県で、「がんや・成人病を予防するライフスタイル」の紹介を行ってきた内容も紹介しつつ、臨床データや実験を通じてお話します。



○参加者の感想・意見について（主なもの）

- ・正しいこと、真実を知ることが大切だと思いました。
- ・食事について、抗酸化食品を取ることによってがん予防となることを知りました。
- ・話が分かりやすく、丁寧に教えていただきました。
- ・ヨウ素を取ることが体にいいことを知りました。